

保護者 児童発達支援評価 たのしいりーふ

2022年3月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	・子どもたちが体を動かせるスペースは十分にあると思います。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・こまめにラインでの連絡があり、こちらの意見も伝えやすい。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・私たちが仕事で忙しく参加できていない。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・毎週異なるプログラムに参加しています。 ・コロナ禍で大変な中、色々プログラムを考えてくださってありがとうございます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18.2%	13.6%	18.2%	50.0%	・コロナで難しいと思います。 ・まだ数ヶ月の利用なのでわかりません。 ・利用開始して数ヶ月のため、あるかもしれないが参加できていない。 ・所属している所があるので、たのしいでの機会の必要性は今のところ感じていません。 ・私が認識する限り、このような交流はなかったと思いますが、コロナ禍でこのような機会は設けにくいと認識しています。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・最初に説明していただきました。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	54.5%	9.1%	4.5%	31.8%	・機会としてはないが、相談すると電話やライン等で迅速に対応して下さるので助かっています。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・連絡帳などでできていると思います。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	81.8%	13.6%	0.0%	4.5%	・コロナで面談は難しいですが、連絡帳を通して色々アドバイスをいただいております。 ・機会としてはないが、相談すると電話やライン等で迅速に対応して下さるので助かっています。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13.6%	22.7%	31.8%	31.8%	・コロナでなければ…保護者会は貴重な情報源でした。 ・今はコロナで難しいと思いますが、開催できるようになれば参加したいです。 ・コロナが落ち着いたら、参観や保護者会等開催してほしい。 ・利用開始して数ヶ月のため、あるかもしれないが参加できていない。 ・コロナが落ち着いたら企画してほしいです。 ・コロナで保護者会の開催は難しいと認識しています。 ・コロナの感染対策で保護者会が中止となったが、歯科検診の問いにお話しできる機会があり、嬉しかったです。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらが把握しておらず、スタッフの方が休みの場合に連絡しても対応して下さる。</li> <li>・ラインも導入して下さったことで、書くのが苦手なので、より相談しやすくなりました。本当に助かってます！</li> </ul>
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも連絡がとれる体制。ラインを利用されているのでこちらも連絡しやすい。</li> <li>・ラインで写真を送ってもらえることがあるので、楽しそうな様子が伝わってきます！</li> </ul>
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページなどの写真やコメントなどで、子どもの活動の様子を見られるのはとても楽しみにしています。</li> <li>・いつも楽しみにしています！</li> </ul>
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たぶん大丈夫だと思います。</li> </ul>
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	90.9%	0.0%	0.0%	9.1%	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	90.9%	4.5%	0.0%	4.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しんでいると思います。利用がない日も、リーふ行く？とたまに聞かれます。</li> <li>・まだ通所の日が分からないので、“楽しみにしている”という感覚ではないと思いますが、通所して、先生方と様々な活動ができることは楽しんでいると思います。</li> <li>・昨年から週2回を1回にした時は残念がっていました。2ヶ月くらい「なんで火曜はないの？」と言っていました。たのしいさんの日は「頑張って保育園行く」と言っています。</li> <li>・毎週、先生と友達に会えることをとても楽しみにしています。家庭では経験させてあげられないこともさせて下さって、とても感謝しています。</li> <li>・通所であることを伝えると「行くー！」と喜んでおり、帰宅する際も笑顔。</li> <li>・とても通所を楽しみにしており、通所後は楽しかったと言って帰ってきます。</li> <li>・家でも「〇〇先生好き！」と言っているの、良くしていただいているのがわかります。</li> <li>・楽しみに通っています。先生が楽しくかかわってくださるのが好きと言っています。</li> </ul>
	23	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく見てもらえて、楽しめるように工夫されていてとても満足しています。いつもありがとうございます。</li> <li>・たまにラインで子どもの写真が送られてくるのがとても嬉しいです。日常生活のトレーニングもしていただき、感謝しています。</li> <li>・たのしいさんを通して本人はすごく成長したと思います。ありがとうございます。</li> <li>・満足しております。ありがとうございます。</li> <li>・主人も私も、事業所様・先生方には本当に感謝しています。子どもの細かいところの変化などにも気が付いて下さったりと助かっています。</li> <li>・子どものことをよく理解してくださっていると日々感じます。どの先生も丁寧に对应して下さるので信頼できる事業所です。</li> </ul>

(注釈)

i「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子也の障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。